

燕大学で松下村塾の役割と吉田松陰の教えを学ぶ

～山口県萩博物館の道迫総括学芸員を講師にわかりやすく解説～

燕市では成人向けの教養講座「燕大学」を開催し多くの市民から参加いただいています。今年は8月に大河津分水が通水して100年を迎えたことから大河津分水の建設に尽力した私塾長善館の門下生の活躍ぶりをメインテーマにしています。

第3回目は時代の流れを大きくかえた吉田松陰の松下村塾の教えや役割を学び、私塾長善館の教えとの共通点などもあわせて考察する内容としています。

【大河津分水通水100周年記念事業

成人講座「燕大学」第3回講演会の概要

■テーマ：「松下村塾・長善館 松陰・文臺

SHOINISM と CHOZENISM を考える」

■日 時：2022年10月15日（土）

10：00～11：30

■会 場：燕市文化会館 大ホール

■内 容：第1部 講演：「吉田松陰と松下村塾」

講師：萩博物館総括学芸員 道迫真吾さん

：第2部 対談 「SHOINISM と CHOZENISM を考える」

萩博物館総括学芸員 道迫真吾さん

長善館史料館館長 横山文一さん

■参加費：無料

■参加者：第3回講演会は市民以外の方も参加いただけます。（高校生以上）

■その他：会場では彌彦神社所蔵の「吉田松陰が燕市粟生津出身の僧侶に贈った獄中詩」を特別展示いたします。

■申込み：参加希望者は下記まで電話にて申込ください。

燕市中央公民館 燕大学係 ☎0256-63-7001

「吉田松陰画像」（京都大学付属図書館所蔵）



本件についての問合せ

教育委員会 社会教育課：酒井 0256-63-7001